

第2期（令和5年度）事業報告書

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所

1 事業の成果

創設2年目となった令和5年度は創立年度に準備を開始した事業の実現化にむけて精力的に活動した。最も大きな活動は、「医学・薬学研究に対する助成・褒賞」事業であり、IDDI Outstanding Basic and Applied neuroscience Talent Award（IDDI 小幡賞）の第1回公募を行い表彰ならびに褒賞を授与した。第1回は、未来社会に向けた独創的な神経科学の研究テーマを若手研究者から募集することとなり、関連学会のみならずホームページやSNSを用いて幅広く応募を呼び掛けた結果、応募倍率は4倍であった。最終選考会（11月3日）では、書面一次審査を通過した若手研究者（11名）が当NPO法人の理事・社員、審査員、オブザーバーに対してプレゼンテーションを行い、会場にいる全員（計46名）が採点に参加するという新しい審査・採点方法を試みた。また受賞者決定会議の間に、参加者のために情報交換会の場を提供した。これらの工夫により、既存の助成・褒賞にはない応募者同士や応募者と審査員との間の交流を深めることに成功した。若手研究者に同世代だけでなく異なる世代の人々との交流の場を提供できたことは、我々が掲げている「先端医療技術の社会実装等に係る研修・人材育成」事業にも該当している。今後も同様のスタイルを継続し、より広い範囲に受益者を広げていく予定である。その他、「科学技術の社会実装等に係るコンサルティング」事業では新たに文部科学省関連事業の再生医療実現拠点ネットワークプログラム事後評価委員を担い、「一般市民に向けた啓発活動」事業としては、若者の大麻乱用を防止する啓発活動として、厚生労働省が行う会議への出席ならびに関連する厚生労働省研究班に参加して研究結果・調査資料などを提供した。また、第100回日本生理学会でシンポジウムを企画して大麻乱用の危険性を示す基礎研究データを発表した。第97回日本薬理学会で化学物質の毒性試験に関するポスター発表を行った。「先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク」事業では新たに医薬基盤・健康・影響研究所の外部評価委員を引き受けた。本事業では昨年に引き続き日本学術会議・先端医療技術の社会実装ガバナンスの課題検討委員会への情報提供を行って、その成果として当該分科会は令和5年9月に日本学術会議から政策提言を発出するに至り、また、令和7年9月開催予定のRS学会へのシンポジウム提案を行い、2月19日に採択された。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【2,890】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
科学技術の社会実装等に係るコンサルティング	国立研究開発法人日本医療研究開発機構から依頼され、コンサルティングを行った。	年2回	オンライン会議	2人	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	20人	55
	文部科学省からの依頼で、再生医療実現拠点ネットワークプログラム事後評価委員会に参加した。	年1回	オンライン会議	1人	文部科学省/研究課題関係者	30人	55

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	最先端の科学技術の収集を行って、スタートアップ企業のコンサルティングを実施した。	随時	NPO 事務所、相手先企業(東京都)、メール	4 人	スタートアップ創業者、社員	1~10 人	156
	既存企業の社内ベンチャー部門のコンサルティングを行った。	毎月 2 回	オンライン会議	2 人	相手先企業の関係者	10 人	160
医学・薬学研究に対する助成・褒賞	小幡賞の研究の助成対象者の募集・ピッチ大会・選考及び優秀者への研究助成の選考方法を賞選考委員会にて議論した。審査員の選別、審査依頼を行う。	年 7 回程度	オンライン会議	14 人	「認知症およびシナプトパチーの基礎と臨床」研究を行っている研究者	20 人	124
	IDDI 小幡賞の授与：将来大きなインパクトをもたらす独創的研究を遂行している若手研究者 5 人(小幡賞)と学生 1 人(奨励賞)を表彰した。	11 月 3 日	東京大学農学部中島ホール	17 人	同上	ファイナリスト 11 人(うち受賞者 6 人)他、会場参加者	1,065
一般市民に向けた啓発活動	米国 FDA 規則の日本語訳を行った。	通年	NPO 事務所	3 人	先端医療技術の社会実装を行う人々	0 人(公開前のため)	55
	ホームページにて、市民等へ向け情報を配信した。	通年	NPO 事務所他	4 人	先端医療技術の社会実装を行う人	不特定多数	147
	若者の大麻乱用を防止する啓発活動に関する、厚生労働省研究班に参加して研究結果・調査資料などを提供し、国民に向けての情報発信の準備を行った。	年 2 回	厚労省・研究班が指定する会議室	1 人	厚労省・麻薬監視課職員と班研究者	会議参加者	12
	日本生理学会で大麻研究に関するシンポジウムを企画し、大麻乱用の危険性を示す基礎研究データを発表した。	3 月 14 日	国立京都国際会館	2 人	薬理学研究者、大学生	70 人	142
	医薬基盤・健康・影響研究所の外部評価委員として活動した。	5 月 29 日	大阪・千里ライフサイエンスセンター	1 人	評価委員、関連省庁職員、研究所職員	40 人	135
	第 97 回日本薬理学会において化学物質の毒性試験に関するポスター発表を行った。	12 月 16 日	神戸国際会議場	2 人	薬理学会のうち学会参加者	40	122

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク事業	日本学術会議・先端医療技術の社会実装ガバナンスの課題検討分科会の政策提言発出に向けて情報を提供した。また、令和7年9月開催予定のRS学会へのシンポジウム提案を行い、2月19日に採択された。	随時	オンライン会議	4人	日本学術会議関係者	2,210人	106
	厚生科学審議会等に委員として審議に参加し、コメントを行った。	5～11月で各月2回	厚生労働省会議室(10回)、オンライン会議(4回)	2人	厚生科学審議会関連者	20人	81
先端医療技術の社会実装等に係る研修・人材育成	IDDI 小幡賞における参加者及び審査員の情報交換会を開催した。	11月3日	東京大学農学部中島ホール	17人	参加者	40人	167
その他目的を達成するために必要な事業	日本薬理学会の事務局アドバイザーとしての活動を行った。	月4回	オンライン会議	1人	薬理学会事務局員と常任幹事	10人	86
	日本生理学会男女共同参画推進委員会のランチョンセミナーを協賛した。	3月14日	国立京都国際会館	3人	日本生理学会	200人	222

(2) その他の事業

(事業費の総費用【0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

第2期（令和5年度）活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1	受取会費		313,000
	正会員受取会費	110,000	
	賛助会員受取会費	203,000	
2	受取寄附金		401,670
	受取寄附金	401,670	
3	受取助成金等	0	0
4	事業収益		613,800
	科学技術の社会実装等に係るコンサルティング事業収益	330,000	
	先端医療技術の社会実装等に係るシンクタンク事業収益	283,800	
5	その他の収益		6,628
	受取利息	28	
	雑収入	6,600	
経常収益計			1,335,098
【B】 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		2,890,917
	旅費交通費	957,684	
	諸会費	217,115	
	通信運搬費	16,302	
	消耗品費	28,784	
	地代家賃	538,950	
	保険料	11,400	
	支払手数料	28,400	
	新聞図書費	9,900	
	会議費	118,962	
	交際費	181,820	
	賃借料	56,500	
	支払助成金	550,000	
	支払報酬	40,000	
	業務委託費	135,100	
事業費計			2,890,917
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		971,155
	旅費交通費	3,918	
	消耗品費	57,445	
	地代家賃	359,300	
	保険料	7,600	
	支払手数料	3,990	
	新聞図書費	1,349	
	交際費	39,600	
	業務委託費	497,953	
管理費計			971,155
経常費用計			3,862,072
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-2,526,974
【C】 経常外収益			
		0	
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
		0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①＋②・・・③			-2,526,974
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		3,340,472
次期繰越正味財産額③－④＋⑤			813,498

第2期（令和5年度） 貸借対照表

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	539,210	869,210
	未収金	330,000	
	流動資産合計・・・①		869,210
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】	資産合計 ①+②		869,210
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	55,712	55,712
	流動負債合計・・・③		55,712
2	固定負債		
		0	0
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		55,712
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	3,340,472	
	当期正味財産増減額	-2,526,974	
	正味財産合計		813,498
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		869,210

第2期（令和5年度） 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	コンサルティング 事業	助成・褒賞 事業	一般市民 啓発事業	シンクタンク 事業	研修・人材育 成事業	その他の 必要な事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費							313,000		313,000
2. 受取寄附金							401,670		401,670
3. 受取助成金等							0		0
4. 事業収益	330,000			283,800			613,800		613,800
5. その他収益			6,600				6,600	28	6,628
経常収益計	330,000	0	6,600	283,800	0	0	1,335,070	28	1,335,098
II 経常費用									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
旅費交通費	13,000	384,409	235,275	104,000	13,000	208,000	957,684	3,918	961,602
諸会費	217,115						217,115		217,115
通信運搬費			16,302				16,302		16,302
消耗品費		16,244		12,540			28,784	57,445	86,229
地代家賃	161,892	53,964	106,892	107,928	53,964	54,310	538,950	359,300	898,250
保険料	3,108	1,036	3,108	2,072	1,036	1,040	11,400	7,600	19,000
支払手数料	990	17,810	3,630	1,650	990	3,330	28,400	3,990	32,390
新聞図書費				9,900			9,900	1,349	11,249
会議費			29,306	29,306	31,042	29,308	118,962		118,962
交際費	30,000		42,000	42,000	55,800	12,020	181,820	39,600	221,420
賃借料		56,500					56,500		56,500
支払助成金		550,000					550,000		550,000
支払報酬		40,000					40,000		40,000
業務委託費		69,100	55,000		11,000		135,100	497,953	633,053
その他経費計	426,105	1,189,063	491,513	309,396	166,832	308,008	2,890,917	971,155	3,862,072
経常費用計	426,105	1,189,063	491,513	309,396	166,832	308,008	2,890,917	971,155	3,862,072
当期経常増減額	△ 96,105	△ 1,189,063	△ 484,913	△ 25,596	△ 166,832	△ 308,008	△ 1,555,847	△ 971,127	△ 2,526,974

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

該当なし

5. 固定資産の増減内訳

該当なし

6. 借入金の増減内訳

該当なし

7. 役員及びその近親者との取引の内容

該当なし

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、地代家賃・保険料については使用割合に基づき按分しています。

第2期（令和5年度） 財産目録

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所
(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			539,210
	現金預金		539,210	
	手元現金	0		
	みずほ銀行普通預金	539,210		
	未収金		330,000	
	コンサルティング事業未収金	330,000		
	流動資産合計・・・①			539,210
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			0
	(2)無形固定資産			0
	(3)投資その他の資産			0
	固定資産合計・・・②			0
【A】資産合計 ①+②				539,210
【B-1】負債の部				
1	流動負債			55,712
	未払金		55,712	
	業務委託費	55,000		
	旅費交通費	712		
	流動負債合計・・・③			55,712
2	固定負債			0
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】負債合計 ③+④				55,712
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】				483,498

第2期（令和5年度）年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人イノベーション創業研究所

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役 名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)	
		氏 名				
1	○理事・監事	セキノ ユウコ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		關野 祐子				
2	○理事・監事	カノウ シンゴ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		加納 信吾				
3	○理事・監事	シラオ トモアキ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		白尾 智明				
4	○理事・監事	オバタ モモコ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		小幡 桃子				
5	○理事・監事	ハヤシ ユウコ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		林 裕子				
6	理事・○監事	タカハシ ヒロキ		令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日	
		高橋 弘樹				
7	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人イノベーション創薬研究所

	氏名	
1	關野 祐子	
2	加納 信吾	
3	白尾 智明	
4	小幡 桃子	
5	林 裕子	
6	高橋 弘樹	
7	光岡 俊成	
8	吉川 武男	
9	今村 一之	
10	小林 哲	
11	西 真弓	
12		